

平成 29 年 8 月 16 日

総務財政委員会

## 第三セクターの経営情報について

白島石油備蓄株式会社  
(平成 28 年度)

企画調整局



## 第三セクターの経営情報について 〔白島石油備蓄（株）〕

### 1 会社概要

#### （1）事業内容

- ① 石油備蓄基地の運転、保全及び安全防災に係わる事業
- ② 前号に付帯関連する事業

#### （2）会社設立及び本市の出資額・割合

|      |                             |
|------|-----------------------------|
| 会社設立 | 昭和56年6月8日                   |
| 資本金  | 1億円（うち本市出資額5,000千円 出資率5.0%） |

### 2 事業報告要旨

#### 【平成28年度業績】

白島国家石油備蓄基地は、エネルギー安全保障政策として石油の供給途絶など緊急時に備え、国家備蓄として日本の石油消費量の約10日分の原油を貯蔵する洋上石油備蓄基地である。

平成28年度は、（独）石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」という。）との白島国家石油備蓄基地操業に係る業務委託契約（平成25年度～平成29年度）の4年度目にあたり、基地の操業に関しては、大型工事である貯蔵船白島一号水封タンク内防食工事の完遂や備蓄原油の緊急放出時の対応能力強化のための基地間転送（払出）の実施他、業務改善など確実に取り組んだ。

また、安全面では、元請会社・協力会社と一体となって取り組んでいるゼロ災活動を継続するとともに、平成20年度から隔年で実施している海上災害対応能力維持および強化のための組織演習業務に取り組むなど、契約に定める業務を着実に遂行中である。

業績については、当期は機構から7,024百万円の収入を得て、74百万円の当期純利益となった。

## 【平成29年度の課題】

平成29年度は、機構との業務委託契約の最終年度にあたり、備蓄原油の緊急放出時の対応能力強化のための基地間転送（受入）業務を着実に遂行するとともに、平成29年度の会社目標である「安全・安定操業の維持継続」、「業務改善、コスト効率化の着実な実行」、「人材の育成、モラルアップの推進」、「地域社会との共生、環境との調和」の達成により、引き続き基地の安全・安定操業に努めていく。

## 3 決算報告要旨

### 損益計算書

自 平成28年4月1日  
至 平成29年3月31日（単位：千円）

| 科目           | 金額        |
|--------------|-----------|
| 売上高          | 7,024,449 |
| 売上原価         | 6,578,031 |
| 販売費及び一般管理費   | 352,161   |
| 営業利益         | 94,256    |
| 営業外収益        | 3,409     |
| 営業外費用        | 0         |
| 経常利益         | 97,666    |
| 特別損失         | 0         |
| 税引前当期純利益     | 97,666    |
| 法人税、住民税及び事業税 | 24,717    |
| 法人税等調整額      | △1,856    |
| 当期純利益        | 74,805    |

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示

## 4 剰余金の配当

株主配当金に2千万円（1株につき 2,000円）。

これに伴い、500株を所有する本市に対しては、株主配当金として百万円が支払われた。

## 5 その他事項

(1) 従業員数 81名（平成29年3月31日現在）

(2) 株主総会 平成29年6月22日、株主全員の同意により下記の議案が承認可決された。

第1号議案「第36期計算書類承認の件」

第2号議案「剰余金処分の件」

第3号議案「取締役全員（5名）任期満了につき取締役5名選任の件」

第4号議案「監査役全員（1名）辞任につき監査役1名選任の件」

第5号議案「退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件」

# 第 3 6 期報告書

自 平成 2 8 年 4 月 1 日  
至 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

白島石油備蓄株式会社

# 事業報告

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

## 1. 事業の概況

### (1) 事業の状況

#### 【当期の業績】

当期における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、経済財政等各種政策の推進により、景気は緩やかな回復基調が続いてきました。

このような経営環境の下、当社は、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」という。)殿との白島国家石油備蓄基地操業に係る業務委託契約(平成25年度～平成29年度)の4年度目にあたり、基地の操業に関しましては、大型工事である貯蔵船白島一号水封タンク内防食工事の完遂や備蓄原油の緊急放出時の対応能力強化のための基地間転送(払出)の実施他、業務改善など確実に取り組んでおります。

また、安全面では、元請会社・協力会社と一体となって取り組んでいるゼロ災活動を継続するとともに、平成20年度から隔年で実施している海上災害対応能力維持および強化のための組織演習業務に取り組むなど、契約に定める業務を着実に遂行中であります。

これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係機関ならびに地域の皆様からのご支援の賜物であり、心からお礼申し上げます。

業績につきましては、当期は機構殿から7,024百万円の収入を得て、74百万円の当期純利益となりました。

#### 【来期の課題】

来期は、機構殿との業務委託契約(平成25年度～平成29年度)の最終年度にあたり、備蓄原油の緊急放出時の対応能力強化のための基地間転送(受入)をはじめ、その他契約に定める業務を着実に遂行して参ります。

また、機構殿との次期業務委託契約(平成30年度～平成34年度)を確実に更新すべく、当該期間における技術提案・操業計画の充実を図るとともに、平成29年度の会社目標である「安全・安定操業の維持継続」、「業務改善、コスト効率化の着実な実行」、「人材の育成、モラルアップの推進」、「地域社会との共生、環境との調和」の達成により、引き続き基地の安全・安定操業に努めて参ります。

株主各位におかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(2) 設備投資の状況

特記すべき設備投資を行っておりません。

(3) 資金調達の状況

借入等、資金調達は行なっておりません。

(4) 業績および財産の状況の推移

| 期 別<br>項 目         | 第 33 期<br>(平成 25 年 4 月<br>～平成 26 年 3 月) | 第 34 期<br>(平成 26 年 4 月<br>～平成 27 年 3 月) | 第 35 期<br>(平成 27 年 4 月<br>～平成 28 年 3 月) | 第 36 期<br>(平成 28 年 4 月<br>～平成 29 年 3 月) |
|--------------------|---|---|---|---|
| 営業収益<br>(千円)       | 7,793,417                               | 8,606,436                               | 9,919,709                               | 7,024,449                               |
| 当期純損益<br>(千円)      | 29,448                                  | 41,615                                  | 46,990                                  | 74,805                                  |
| 1 株当たり<br>当期純損益(円) | 2,944                                   | 4,161                                   | 4,699                                   | 7,480                                   |
| 総 資 産<br>(千円)      | 3,152,420                               | 3,850,374                               | 3,712,122                               | 3,371,044                               |
| 純 資 産<br>(千円)      | 597,190                                 | 618,805                                 | 645,795                                 | 700,600                                 |

## 2. 会社の概況（平成29年3月31日現在）

(1) 設 立 昭和56年6月8日

### (2) 事業内容

- イ. 石油備蓄基地の運転，保全及び安全防災に係わる事業
- ロ. 上記イの事業に付帯関連する事業

### (3) 株式の状況

#### イ. 株式の総数

|          |         |
|----------|---------|
| 発行可能株式総数 | 10,000株 |
| 発行済株式の総数 | 10,000株 |

ロ. 株主数 5名

#### ハ. 株主

| 株 主 名       | 持 株 数  | 議 決 権 比 率 |
|-------------|--------|-----------|
| コスモ石油株式会社   | 3,938株 | 39.38%    |
| 株式会社商船三井    | 2,812  | 28.12     |
| JXエネルギー株式会社 | 2,250  | 22.50     |
| 福岡県         | 500    | 5.00      |
| 北九州市        | 500    | 5.00      |

(注) 当社の上記株主への出資はありません。

### (4) 主要な事業所

本 社 〒107-6024  
東京都港区赤坂一丁目12番32号  
(03) 5574-7431 (大代表)

北九州事業所 〒808-0021  
福岡県北九州市若松区響町一丁目108番  
(093) 752-1460 (代表)

(5) 従業員の状況

| 区 分           | 男 子            | 女 子           | 合 計            |
|---------------|----------------|---------------|----------------|
| 本 社           | 12名            | 3名            | 15名            |
| 北九州事業所        | 62名            | 4名            | 66名            |
| 合 計<br>(前期末比) | 74名<br>(前期比-4) | 7名<br>(前期比±0) | 81名<br>(前期比-4) |

平均年齢 40歳6カ月 平均勤続年数 10年10カ月

(6) 取締役および監査役の氏名等

| 地 位     | 氏 名     | 担当 (兼務の状況) 等         |
|---------|---------|----------------------|
| 代表取締役社長 | 安 藤 文 晴 |                      |
| 専務取締役   | 川 口 修   |                      |
| 取 締 役   | 山 村 秀 省 | 業務部長                 |
| 取 締 役   | 岡 田 隆 二 | 北九州事業所長              |
| 取 締 役   | 坂 井 俊 哉 | 経理部長 (総務部長 兼務)       |
| 監 査 役   | 松 村 秀 登 | (コスモ石油株式会社 常勤監査役 兼務) |

- (注) 1. 安藤文晴および坂井俊哉の各氏は、平成28年6月21日(第35期定時株主総会決議成立日)をもって新たに取締役に選任され就任いたしました。
2. 瀧嶋輝行および山口洋史の各氏は、平成28年6月21日(第35期定時株主総会決議成立日)をもって任期満了により取締役に退任いたしました。
3. 取締役(経理部長担当)坂井俊哉氏は、平成28年11月16日から総務部長を兼務しております。
4. 松村秀登氏は、平成28年6月21日(第35期定時株主総会決議成立日)をもって新たに監査役に選任され就任いたしました。
5. 水井利行氏は、平成28年6月21日(第35期定時株主総会決議成立日)をもって監査役を辞任いたしました。

## 貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:千円)

| 科 目      | 金 額       | 科 目       | 金 額       |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| (資産の部)   |           | (負債の部)    |           |
| 流動資産     | 3,310,197 | 流動負債      | 2,374,106 |
| 現金及び預金   | 973,377   | 未払費用      | 2,264,535 |
| 営業未収金    | 2,041,572 | 未払法人税等    | 16,161    |
| 前払費用     | 10,914    | 未払事業所税    | 8,207     |
| 未収消費税等   | 247,921   | 預り金       | 4,128     |
| 未収入金     | 2         | 賞与引当金     | 81,072    |
| 繰延税金資産   | 36,180    | 固定負債      | 296,337   |
| その他      | 227       | 退職給付引当金   | 262,499   |
|          |           | 役員退職慰労引当金 | 33,838    |
| 固定資産     | 60,846    | 負債合計      | 2,670,443 |
| 有形固定資産   | 19,145    | (純資産の部)   |           |
| 建物       | 13,629    | 株主資本      | 700,600   |
| 工具器具備品   | 5,515     | 資本金       | 100,000   |
| 無形固定資産   | 3,958     | 利益剰余金     | 600,600   |
| 電話加入権    | 84        | 利益準備金     | 24,550    |
| ソフトウェア   | 3,874     | その他利益剰余金  | 576,050   |
| 投資その他の資産 | 37,743    | 別途積立金     | 90,000    |
| 長期差入保証金  | 34,140    | 繰越利益剰余金   | 486,050   |
| 長期前払費用   | 3,602     | 純資産合計     | 700,600   |
| 資産合計     | 3,371,044 | 負債及び純資産合計 | 3,371,044 |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 損益計算書

自 平成28年4月 1日  
至 平成29年3月31日

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額     |           |
|-----------------|---------|-----------|
| 売 上 高           |         | 7,024,449 |
| 売 上 原 価         |         | 6,578,031 |
| 売 上 総 利 益       |         | 446,417   |
| 販売費及び一般管理費      |         | 352,161   |
| 営 業 利 益         |         | 94,256    |
| 営 業 外 収 益       |         |           |
| 受 取 利 息         | 261     |           |
| 雑 収 入           | 3,148   | 3,409     |
| 経 常 利 益         |         | 97,666    |
| 税 引 前 当 期 純 利 益 |         | 97,666    |
| 法人税, 住民税及び事業税   | 24,717  |           |
| 法 人 税 等 調 整 額   | △ 1,856 | 22,861    |
| 当 期 純 利 益       |         | 74,805    |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

自 平成28年4月 1日  
至 平成29年3月31日

(単位:千円)

|         | 株 主 資 本 |           |          |             |              | 株主資本合計   | 純資産合計    |
|---------|---------|-----------|----------|-------------|--------------|----------|----------|
|         | 資本金     | 利 益 剰 余 金 |          |             | 利益剰余金<br>合 計 |          |          |
|         |         | 利益準備金     | その他利益剰余金 |             |              |          |          |
|         |         |           | 別途積立金    | 繰越利益<br>剰余金 |              |          |          |
| 当期首残高   | 100,000 | 22,550    | 90,000   | 433,245     | 545,795      | 645,795  | 645,795  |
| 当期変動額   |         |           |          |             |              |          |          |
| 剰余金の配当  |         | 2,000     |          | △ 22,000    | △ 20,000     | △ 20,000 | △ 20,000 |
| 当期純利益   |         |           |          | 74,805      | 74,805       | 74,805   | 74,805   |
| 当期変動額合計 |         | 2,000     |          | 52,805      | 54,805       | 54,805   | 54,805   |
| 当期末残高   | 100,000 | 24,550    | 90,000   | 486,050     | 600,600      | 700,600  | 700,600  |

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

### 1.重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1)有形固定資産の減価償却の方法は、定額法を採用しております。

無形固定資産のソフトウェアの減価償却の方法は、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

(2)賞与引当金は、従業員に対する賞与支給に充てるため、賞与支給見積額のうち当期対応分の金額を計上しております。

(3)退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、退職手当規程に基づく当期末自己都合要支給額を計上しております。

(4)役員退職慰労引当金は、役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく当期末要支給額を計上しております。

(5)消費税等の会計処理の方法は、税抜方式を採用しております。

## 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

### (1)発行済株式の種類および総数に関する事項

|      | 前期末株式数  | 当期末株式数  | 摘 要           |
|------|---------|---------|---------------|
| 普通株式 | 10,000株 | 10,000株 | 当期中の増減はありません。 |
| 計    | 10,000株 | 10,000株 |               |

### (2)剰余金の配当に関する事項

#### ① 配当金支払額

| 決 議                  | 株式の種類 | 配当金の総額   | 1株当たり配当額 | 基準日            | 効力発生日          |
|----------------------|-------|----------|----------|----------------|----------------|
| 平成28年6月21日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 20,000千円 | 2,000円   | 平成28年<br>3月31日 | 平成28年<br>6月22日 |

#### ② 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力が翌期となるもの

平成29年6月の定時株主総会において、次の議案を付議する予定であります。

| 株式の種類 | 配当金の総額   | 配当金の原資 | 1株当たり配当額 | 基準日            | 効力発生日             |
|-------|----------|--------|----------|----------------|-------------------|
| 普通株式  | 20,000千円 | 利益剰余金  | 2,000円   | 平成29年<br>3月31日 | 定時株主総会<br>決議成立日翌日 |

## 監 査 報 告 書

私は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの第 36 期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

なお、当会社の監査役は、定款第 30 条に定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告を監査する権限を有しておりません。

### 1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役等から会計に関する職務の執行状況を聴取し、会計に関する重要な書類等を閲覧いたしました。また、会計帳簿又はこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表)及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

また、本株主総会に提出される会計に関する議案は、法令及び定款に適合しており、指摘すべき事項は認められません。

平成 29 年 5 月 25 日

白島石油備蓄株式会社

監査役 松村 秀登 ⑩

(参考資料)

白島石油備蓄株式会社 役員名簿

(平成29年6月22日現在)

| 地 位       | 氏 名     | 担当 (兼務の状況) 等        |
|-----------|---------|---------------------|
| 代表取締役社長   | 安 藤 文 晴 |                     |
| 専 務 取 締 役 | 川 口 修   |                     |
| 取 締 役     | 坂 井 俊 哉 | 経理部長                |
| 取 締 役     | 竹 田 英 樹 | 業務部長                |
| 取 締 役     | 水野尾 透   | 北九州事業所長             |
| 監 査 役     | 佐 藤 薫   | (コスモ石油株式会社 常勤監査役兼務) |

# 白 島 石 油 備 蓄 株 式 会 社

本 社 〒107-6024 東京都港区赤坂一丁目12番32号  
電話 (03) 5574-7431 (大代表)

北九州事業所 〒808-0021 福岡県北九州市若松区響町一丁目108番  
電話 (093) 752-1460 (代表)